

DVD を見て、次の問いに答えてみよう。

**1** ライフステージにおける子どもの区分について、以下の問いに答えてみよう。

- ①生まれてから1年未満の子どもを何とよぶか。 [ **乳児** ]
- ②特に①の中でも、生まれて28日（4週）未満の子どもを何とよぶか。 [ **新生児** ]
- ③生後1年から小学校に入学するまでの子どもを何とよぶか。 [ **幼児** ]

**2** 新生児に見られる原始反射の種類と、その説明を線で結びましょう。

- ① **モロー反射**  新生児のからだを抱えて、立たせるようにすると足を交互に動かして歩くような動作をすること。
- ② **原始歩行**  唇にものが触れると、触れたものの方に顔を向け、吸いつくような動作をすること。
- ③ **把握反射**  手のひらや足の裏を刺激すると、強い力で反射的にしっかりと握ること。
- ④ **吸てつ反射**  新生児のからだを持ち上げて、急に下げると両手をさっと広げるような動作をすること。

**3** 1～11か月頃までの乳児について、以下の問いに答えてみよう。

- ①生まれてから1～2か月頃の子どもの特徴をひとつ挙げてみよう。  
 [ **首がすわっていない／音の出るおもちゃに反応する など** ]
- ②人見知りが始まるのは、次のどのくらいの頃からか、選んで○で囲んでみよう。  
 1か月未満      **3～4か月頃**      1歳～2歳頃      6歳頃
- ③これまで母乳や調製粉乳で育ってきた子どもを、段階的に他の食べ物に慣らしていくことを何とよぶか。  
 [ **離乳** ]
- ④子どもは、生まれてから1年の間にどのくらい大きくなるか、以下の文の（ ）に数字を入れてみよう。  
 身長は約（ **1.5** ）倍、体重は約（ **3** ）倍にまで大きくなる。

**4** 幼児期の特徴についてまとめた下の表の空欄を語群から選んで埋めよう。

	身体的な特徴	精神的な特徴
1歳頃	(ア <b>コップ</b> ) を使って飲んだり、フォークなどを使って食べようとする。 (イ <b>ひとり歩き</b> ) ができるようになる。 このときに初めてはくのがファーストシューズである。	「マンマ」「わんわん」など(ウ <b>一語文</b> ) を話し始める。(ウ) は、ひとつの言葉にくつもの意味が込められている。 自己主張が出てきて、だだをこねることもある。
2歳頃	運動機能が発達し、ボールをけったりすることもできる。 手先が器用になり、積み木を積むなどの遊びをするようになる。	他の子が遊んでいると、その近くで同じ遊びをするが、互いに存在を感じながらも別々に遊んでおり(エ <b>平行</b> ) 遊びとよばれる。 親の言うことを拒否したり、わざと逆のことをする(オ <b>第一次反抗期</b> ) が始まる。
3歳頃	さらに手先が器用になり、はさみを使って紙を切ることなどができるようになる。 (カ <b>はし</b> ) を使うことができるようになり、こぼさずに食事が可能になる。	友だちと一緒に遊ぶことができるようになる。 互いに役割分担をして大人の真似をしながら(キ <b>ごっこ</b> ) 遊びなどを楽しむ。 (キ) 遊びは社会のルールや対人関係の基礎を育む大切な遊びである。
4歳頃	(ク <b>スキップ</b> ) をするなど、全身を使った運動を楽しむようになる。 はずんでいるボールを掴むなど、高度な運動も可能になる。	単語だけでなく、接続詞や助詞なども使った(ケ <b>多語文</b> ) を使えるようになり、だいたいの日常会話が成立する。 自分の名前を言うこともできる。
5・6歳頃	運動機能の高まりを十分に発揮できるようになり、細かい手や指の動きが可能になる。折り紙を楽しむこともできる。	仲間と活発に遊ぶ機会をもち、自分たちで遊びの(コ <b>ルール</b> ) を考えて、それを守りながら遊ぶこともできる。 文字などへの興味が生まれ、友だちと話し合ったり、図鑑を調べたりするようになる。

【語群】 スキップ・はいはい・はし・第一次反抗期・親子・コップ・一語文・消化  
 第二次反抗期・ひとり歩き・ルール・ごっこ・平行・きずな・多語文

**5** 自分が子どもの頃をふり返り、何歳のときに、どんな遊びが好きだったか挙げてみましょう。

自由記述